



# 駆動シャフトキット

ヤンマーエンジン搭載の Reelmaster® 5410, 5510, 5610-D および  
Groundsmaster® 4300-D シリーズのトラクションユニット用

モデル番号133-2996

## 取り付け要領

### ⚠ 警告

カリフォルニア州  
第65号決議による警告  
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる  
化学物質が含まれているとされております。

## 駆動シャフトを取り付ける

1. 平らな場所に駐車し、カッティングユニットを降下させ、エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛けてキーを抜き取る。

### ⚠ 警告

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでもエンジンを始動させることができ、危険である。

2. 運転席を倒し、フードをあげ、フード用サドルを取り外す 図 1。
3. 駆動ラインガードを取り外す 図 1。

注 外したガードと金具類は後の取り付けに備えて保管してください。

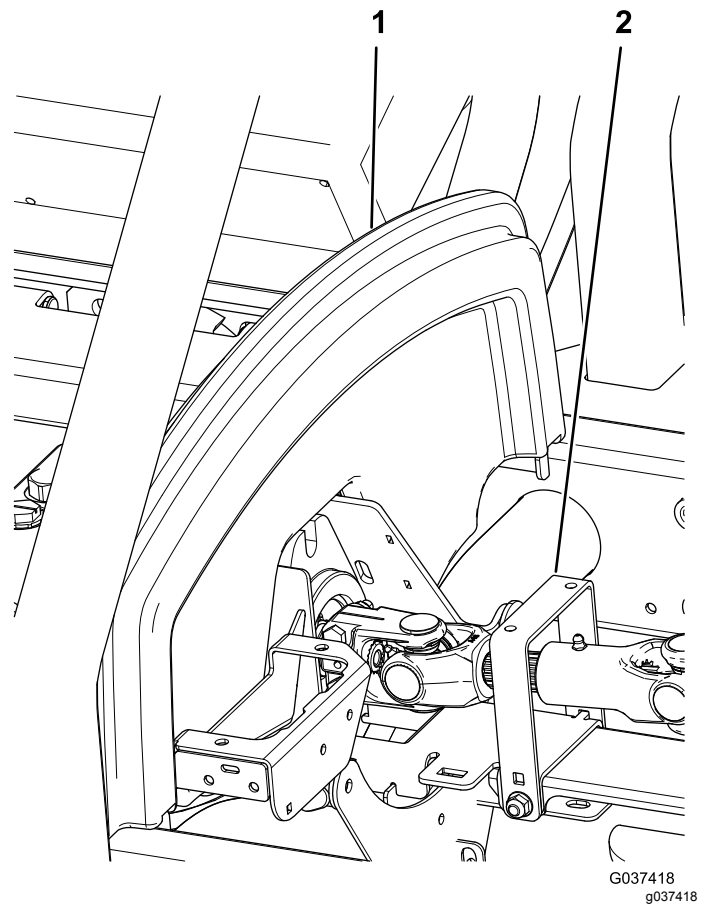


図 1

1. フード用サドル
2. 駆動ラインガード

4. 既存の駆動シャフトの小さい方の端部を油圧ポンプに固定しているフランジナット2個とボルト2本を外す 図 2。

注 外したフランジナット2個とボルト2本は新しいシャフトの取り付けに使用します。



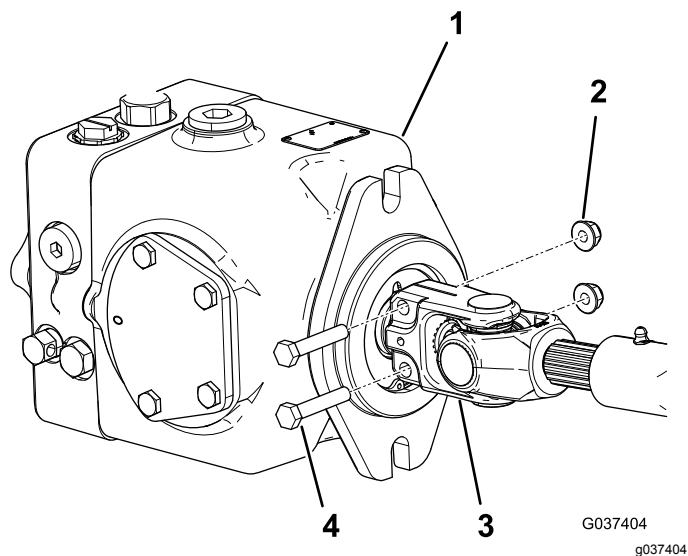


図 2

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 油圧ポンプ     | 3. 駆動シャフトの小さい方の端部 |
| 2. フランジナット2個 | 4. ボルト2本          |

5. 既存の駆動シャフトの大きい方の端部をエンジンのフライホイールに固定しているキャップスクリュ8本を外して廃棄する図 3。

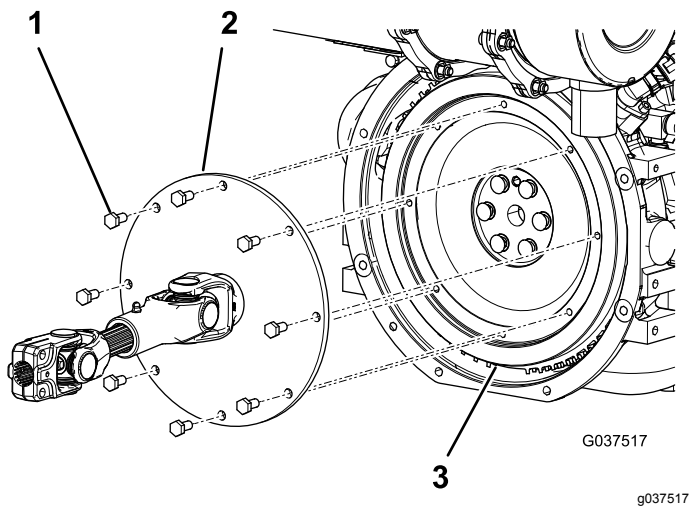


図 3

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 既存のキャップスクリュ8本  | 3. フライホイール |
| 2. 駆動シャフトの大きい方の端部 |            |

6. 既存の駆動シャフトを取り外して廃棄する。
7. 新しい駆動シャフトの半身どうしを束ねているケーブルタイを切断して廃棄する。
8. 新しい駆動シャフトのスリップジョイントにグリスを塗る。
9. 新しい駆動シャフトの大きい方の端部それぞれに、バックアップリングを取り付ける図 4。

10. 新しい駆動シャフトの大きい方の端部の穴とバックアップリングの穴を、エンジンのフライホイールの穴に合わせる図 4。

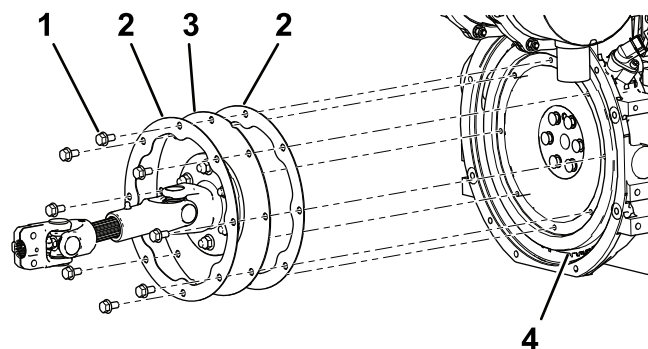


図 4

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. フランジヘッドキャップスクリュ8本 | 3. 駆動シャフトの大きい方の端部 |
| 2. バックアップリング         | 4. フライホイール        |

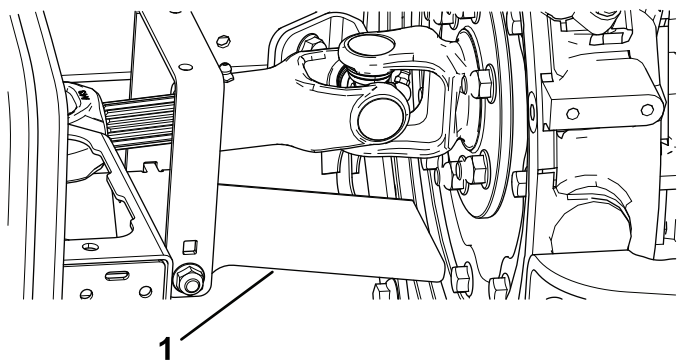
11. キット付属品である短いフランジヘッドキャップスクリュ8本のねじ山に中程度のロックングコンパウンド除去可能なタイプを塗りつける図 4。
12. 駆動シャフトとバックアップリングをフライホイールに固定するフランジヘッドキャップスクリュ8本を使用する図 4。

**注** 各キャップスクリュを 23-28 N·m 2.4-2.9 kg.m = 17-21 ft-lbにトルク締めする。

13. 駆動シャフトの小さい方の端部に、ボルトのフランジナット先ほど取り外して保管しておいたものを取り付ける図 2。
14. 駆動シャフトの小さい方の端部を、油圧ポンプのシャフトに取り付け、フランジナットを締め付ける図 2。

**注** フランジナットを 20-25 N·m 2.1-2.5 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。

15. 駆動シャフトが回転した時にフランジヘッドキャップスクリュが防熱シールドに触れないように防熱シールドを倒す図 5。



g242201

図 5

1. 防熱シールド

- 
16. 駆動ラインガードを取り付ける [図 1](#)。
  17. フード用サドルを取り付け、運転席を元通りにする [図 1](#)。



**Count on it.**